

湘北退職教職員の会報

悠 悠

第 19 号

発行人 志 村 光 久
題 字 細 野 優
発 行 (財)相模原教育会館内
湘北退職教職員の会

意味ある人生の延長を

湘北退職教職員の会 会長 志村光久



湘北退職教職員
の会は、
発足以来
二十年の
歳月を重
ねてきま
した。
爾来、
歴代役員
の方々の
ご努力と会員の皆様のご理解とご支
援により着実にその歩を進めて参り
ました。

本年六月四日、発足二十周年記念
として総会並びに記念式典をささや
かながら挙行いたしました。総会、
記念式典につきましては別面にてご
報告させていただきます。
ご臨席頂いた来賓の方々、ご参加
の会員の皆様、計画・運営にご尽力



原教育会館理事長に就任いたしまし
た鹿島哲夫です。

相模原教育会館は設立から二六年
が経過しました。多くの教育関係者・

子どもたちの豊かな成長の一助に

(財)相模原教育会館 理事長 鹿島哲夫

百才の現役医師、日野原重明氏がそ
う問いかけています。
たしかに、長寿社会といっても、
それが進歩する医療技術による延命
効果によるものでは老病長寿とも言
えるものになってしまいます。これ
からの私たちは、自らの命や生活の
質を見直し、高めることを考えるこ
うことなのでしょう。

私たちが会員の年齢層は、壮年、若
老年、老年と言えるかと思いますが、
それぞれの段階で自分はどうすべき
か、何をなすべきか、生きることに
質を自分自身で答えを探していくこ
とかと思えます。会員各位の意味あ
る人生の延長をご期待いたします。
私たち役員も会員に役立つ情報の
提供や交流の場の会員の方々の体験
を通して学習の場の設定など、会の
運営に努力していく所存です。

六月九日に開
かれた理事会を
もちまして、二
〇一一年度相模
原教育会館理事長に就任いたしまし
た鹿島哲夫です。
地域の皆様に支えていただきながら
発展してきた教育会館であります、
とりわけ、湘北退職教職員の会の皆
様には、大きなお力添えを賜ってま
いりました。厚く御礼申し上げます。
いつの時代においても、社会が教
育に寄せる期待は大変大きなものが
あります。誰もが明るい未来を展望

しており、来るべき社会を担う子ど
もたちのために「よりよい教育を」
と願うのは、至極当然のことといえ
ましょう。

こうした社会・時代の要請を受け
止めながら、各学校では、教職員の
皆さんが子どもたちのために日々奮
闘されています。また、地域社会に
目をむけても、子どもたちの登下校
の安全を見守ることや、自治会の子
ども会活動など、子どもたちの学び・
成長をささえる多くのしくみがつく
られています。

いま、私たちをとりまく社会はめ
まぐるしく変化しています。また、
三月十一日に発生した福島第一原発
事故は、私たちに新たな課題を投げ
かけました。こうした状況から、教
育に寄せられる期待もさらに大きく
なっていくことが予想されますが、
今後とも学校教職員の現場感覚、社
会・市民・子どもたちのニーズを受
け止めつつ「子どもたちのゆたかな
学び・ゆたかな成長」の一助となる
教育会館の運営が必要だと考えます。
教育会館という立場では、公益法
人改革にもなう一般法人移行とい
う大きな課題がありますが、湘北退
職教職員の会の皆さんには、今後も
相模原教育会館へのさらなるご支援
を、どうぞよろしく願っています。

更なる発展の一步に 設立二十周年湘北退職教職員の会 総会・式典

退職教職員の会設立二十周年に当たるとは、第二十回設立二十周年記念総会として六月四日、十時より来賓を迎えて開催され、新年度に向け船出ができました。

開会のことばに続き、会長、来賓の挨拶へと移り議事へと入っていきました。進行が鈴木議長に変わり、二〇一〇年度事業報告、会計報告、監査、カンパ会計報告、二〇一一年度役員選出、事業計画、



収支予算、事業計画等が討議され、いずれも承認、可決されました。議長降壇後、閉会のことばで無事に終了となりました。

次に同じ会場が文化部のクラブ紹介のデモンストレーションへと移っていきました。これは、健康で豊かな人生を送って頂くため趣味や学び合いでの仲間づくり、心から愉しめる時間を過ごしてほしいと願って発足させるものです。

紹介されたのは四部で竹細工部は身近にある竹利用の作品づくりで、今回はトンボの

ブローチ作りを、小さな親切運動部では愛川町出身の東大出の茅誠司先生が、卒業生に贈った言葉に感動した事から実行本部が設立され活動をしている事の紹介、続いてウクレレ部では仲間づくりに努めている方々の楽しい演奏を、健康太極拳部は健康長寿へと結びつけている事が動きを通して披露されました。



作品を前に団欒する見学者達

昼食を挟んで、設立二十周年式典が行なわれました。多くの来賓を迎え、会長挨拶の後、来賓の祝辞等が続きました。多くの祝辞から、人生八十年の時代に社会貢献の場や自らを高める学習、趣味、教養を磨き、知性、理性を保って人生の最終章へと漕ぎつけるヒントを得ました。

続いてアトラクションがあり、初めに相模原市少年少女合唱団が五味義夫氏指揮により四曲、女声合唱団、コール・アイリスが山本龍紀氏指揮

により五曲を聴かせて下さいました。最後に全員で「ふるさと」を元気よく合唱し、大団円となりました。

一階の別会場では、朝十時より文化展が開催されました。

前日の夕方に会員の皆様方から搬入された大切な作品(写真、書道、俳句、焼き物、フラワーアレンジメント、編物、手芸、遊心冊子等)が展示されておりました。会員の日頃の精進努力が作品を通して感じ取れました。参観者からは、来年こそは私も参加できたらとの声が伺えました。

朝から隙間なく行事が組み込まられ活気ある有意義な一日でした。

総務部

湘北退教が設立二十周年を祝いました。我々は、その節目に新たな出発をめざし「自前の組織づくり」に取り組み始めたのは最近です。

「当分会費は取らず：」の理念を生かし活動するには、独自のカンパ活動を基盤に、会員から支持される諸活動を展開する、という方向性を改めて確認します。

退職教職員の生き方・ニーズは多様で全ての会員を網羅する活動は難しいだろうが、幸いカンパは多くの支持をいただいています。

現職の頃と同様『湘北』の下に絆が深められるよう、文化・研修・組織・広報を支え総務部も奮闘してまいります。

部 会 だ よ り

研修部

昨年度は、悠悠の旅、介護講座、確定申告研修会にご参加いただき、ありがとうございました。

本年度は、次の通りの計画です。
◎悠悠の旅（九月十五日㈩）羽田空

港、小石川植物園等を見学します。

◎確定申告研修会（二月四日㈫）県退教の会のご支援のもと、講師の方々よりご指導いただきます。

◎「今の教育現場は（仮称）」と題し（十一月二十六日㈫）、教育現場で活躍する先生方より情報提供を頂き、討論を深めていきたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

組織部

昨年度に引き続き今年度の総会でも、(1)新会員加入の促進 (2)各職種を網羅した役員体制の確立を目指すことが決定されました。今年度の新会員は二〇二名で加入率も昨年に引き続き県下七支部ではトップで、会員数は約三、〇〇〇名です。

総会后、総務部の方から会員名簿を市町村ごとにより細かく整理して欲しい旨の要請があり今年度の課題として取り組む予定です。
財政的基盤の確立のために、カンパ（一〇一、〇〇〇円）をお願いいたします。

文化部

文化部では、今年度から四つの文化クラブを創設しました。
足腰を丈夫にする太極拳・仲間と

楽しく演奏するウクレレ・脳の集中力を高める竹細工・思いやりの社会をつくる親切運動など。指導者も揃っています。この他にも、碁・将棋など、お互いの技能交流を図る会を立ち上げることも可能です。

定期総会の折に文化クラブ発表ができるよう、多くの入会者を募っています。

文化作品展は、絵画・書道・文芸・陶芸・写真・手工芸などの分野で、創作活動をされている方の作品を募集し、総会の日に搬入展示しています。意欲的な作品が多数出展されるよう期待しています。

広報部

前号から、会長と広報部員七名で編集に当たっています。今年度新しく二名が入部し、湘北地区全般に委員を配置することが出来、各地区への原稿依頼が以前より楽になりました。今後も会の内容や会員の方々の様子をできる限り紹介したいと考えています。

今号は特に二十周年記念号ということで、文化クラブのデモンストレーションや記念演奏会の様子を、写真を中心にまとめてみました。今後、原稿依頼がありましたら、ご協力をぜひお願い致します。

〇二年度
湘北退職教職員の会
役員

会長 志村光久
副会長 白井百合子

理事

事務局長 倉森久野
監事 持田昌幸
顧問 巳佐文恵

長谷川 紘樹
石塚 天章
田中 勝治
三浦 潤子
長田 加代子
花家 忠生
酒井 洋次
大内 千秋
田所 金源
白井 英雄
造免 今子
糸賀 美代子
渡利 美博
石井 喜美代
金子 和蔵
鈴木 勝
嶋田 マサ子
花山 貴子
島田 肇
長谷川 兌
梅本 春江
高橋 正和
佐藤 馥美
鈴木 恭子
首藤 幸治
大河原 洋子
林野 裕行
佐野 葉子
野崎 伸一郎
久保田 昌幸
森田 昌幸
倉持 巳佐

第十八回

悠悠の旅

埼玉方面

バスツアー

実施日 二〇一〇年九月十六日(木)
見どころ 鉄道博物館

平林寺
サントリービール

参加者 三十五名

武蔵野工場



武蔵野の面影を訪ねて

金子 和 蔵(大 和)

生憎の雨が降り続く出発の朝であったが、相模大野、相模原市役所、橋本駅南口から参加者を乗せてバスが進むうちに、次第に雨も上がって来た。最初の目的地である鉄道博物館に到着した。JR大宮駅からニューシャトルに乗ると下車一分と案内にある。館内はゾーン別展示になっている。参加者の多くは、初めにヒストリーゾーンに向かい、時代を代表する機関車や電車に見入ったり、写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせている方々もおられたようであった。ヒストリーゾーンでは、創業期の機関車や客車など三十数台もの展示があり、その迫力に圧倒されてしまう。このゾーンが全体の半分くらいのスペースを占めており、多くの時間をここで過ごされる方もいた。

その後は、思い思いに、鉄道の原理、仕組み、最新の技術を学べるライニングゾーンや資料を集めたコレクションゾーン、また、シミュレーターホールで擬似運転が経験できるエントランスゾーンに向かわれた方もおられたようである。しかし、楽しい見学も、あっという間に過ぎ、昼食は、食事処の「たけ山」で摂る。昼食を摂りながら、参加者同士の交流

も深められた。昼食後、歩いて平林寺に向かう。平林寺は禅刹で、松平信綱の墓もある。四十三万平方メートルの寺域の自然は多様で、武蔵野の面影を残している。そうした自然の豊かさは、國木田独歩の小説「武蔵野」で描いた自然を彷彿させる。境内林は国指定天然記念物になっている。平林寺は総門を入ると山門、仏殿、中門、本堂と縦に一列に並んでいる禅宗形式の伽藍配置になっている。途中、山門前で記念撮影。その後霧雨が降り始めるが、雨に濡れ増々美しく輝く境内林は詩情をそそるに十分な風情であった。紅葉の名所でもある平林寺を後にして、旅の締め括りは、サントリーの武蔵野ビール工場であった。ビールの生成過程を見学した後は、ビールの試飲となる。文学の香り漂う武蔵野の自然を思い出しつつ飲むビールの味わいは格別であった。



鉄道博物館

財団法人 相模原教育会館



皆様にささえられ
今年
創立26周年

相模原教育会館は、子ども達の豊かな成長と県央・県北地域の教育文化振興を願って活動しています。教育会館を様々な活動の場としてご利用下さい。

TEL.042-758-2190

第十九回 悠悠の旅
東京方面バスツアー

実施日 二〇一二年九月十五日(木)
見どころ 羽田空港国際ターミナル

築地場外市場
東京スカイツリー
小石川植物園

〜楽しかった報告は次号で〜

元気で



・横浜を中心に彫刻の発表をしています。作品は彩色テラコッタの頭像です。作品がたまって来たので、八王子や相模原でも発表したいです。

小澤 史雄 (相・谷口中)

・群馬に来てから四年半。百歳を超えた父の介護・農業・孫守り・地域活動の毎日。連日の猛暑ゆえ、朝明るくなるのを待っての農作業。現職時とは異なった日々を元気に過ごしています。

神澤 義明 (相・相武台小)

・退職後、市女性相談室を経て、男女共同参画審議会へ、今は消費生活審議会に関わらせていただいています。国際交流日本語教室での受講生達の熱心なパワーが、今の私の元気の源です。

五味 佳代 (相・清新小)

・退女教でお世話になって居ます。組合活動を先頭に立ってリードして来られた全国の先輩方の、今も現役ながら活躍なさる姿に大きな感動と今後の生き方に刺激を頂いています。

村井みつ恵 (相・新宿小)

・桂北小で水泳のおしかけボランティアを始めて早3年。今年は3校延べ46時間入った。初めて25m泳げて、水と太陽と友達になった子に元気をもらい、共に喜んでいる私が今ここにいます。

板倉 遵夫 (相・広田小)

・自給自足的な田舎暮らしをしています。畑で獲れた野菜を食べ、冬に備えてストーブ用の薪作りに汗を流しています。知人からの声かけに応じて時々お手伝いに出かけるのもいいものです。

滝澤 登 (相・藤野南小)

・早起き、東日本大震災以来、心がけている。友との、おしゃべりが、ストレス解消になっている。苦もあるが、楽が、少し、多くあると、思っている。大正琴の演奏を、楽しんでる。

山口 典子 (相・青根小)

・早いもので、退職して二年余り、毎日健康のため散歩をかかさず、夏の今は真っ黒です。退職してからは海外旅行にあけられています。モロッコ・ロシア・ポルトガル…。楽しい毎日です。

原 幸夫 (厚・緑小)

・退職して四ヶ月。勤めていた頃は、いかに短時間に行けるかの勝負だった料理ですが、今は、料理番組や本を見、栄養や彩りを考え、愛情と時間をかけ、楽しく食事作りをしています。

白輪地良江 (厚・戸室小)

・私生活を充実させたくて定年前に退職し、三年経ちました。水彩画、英会話、リコーダーとどれも良い先生と仲間に恵まれ、今では退職後の私を少しずつですが前進させてくれています。

守屋いずみ (厚・南毛利小)

・素朴な音色にひかれ、オカリナを習い始めて五年、その音色に癒されています。現在、年一回のコンサートに向けて練習中。これからも、快い緊張を楽しみに続けていきたいと思っています。

曾根 里美 (厚・厚木小)

・気がついたらもう古希。年を忘れて月火木金、小中学校で教育ボランティアを続けています。その他、カミさんに怒られながら、二つの合唱団で週一回、他に月二回、歌っています。

曾我 昌三 (海・中新田小)

・“ねばならぬ”の生活から“よきにはからえ”の生活になり、早三年目。心置き無く邦楽の世界に浸り、二十年以上も続く仲間達とのバラエティに富んだ月のイベントを楽しんでいます。

松原 拓雄 (座・入谷小)

・趣味の書道に関わる時間が多くなり、生活の中心となってしまいました。若い皆さんと作品づくりを楽しんでいます。飲み会を欠かすことなく、週末は出身地山梨の山奥で汗を流します。

奈良 昭男 (和・渋谷中)

・皆様のお蔭で無事退職し早や四ヶ月。週三日間の理科センターの勤務のリズムにも、ようやく慣れました。休みの日には、家庭菜園や我が家のリフォームにとこの瞬間をより良く生きてます。

八木 吉郎 (和・林間小)



エコミュージアムにかかわって

山口 清 (相模原)

平成十四年から旧城山町が城山エコミュージアム事業を始め、相模原市との合併後も引き継がれ十年が経過しました。当初からこの事業にかかわり、現在も日常の時間のかんりの部分を費やして楽しんでおります。

エコミュージアムとは、地域全体を博物館に見たて地域の自然や歴史、文化、産業などの文化財を現地に保存しながら展示し、多くの人に知ってもらい、次代に伝えていく活動です。地域全体を一つの博物館とみることから「町まるごと博物館」とか「屋根のない博物館」とも言われています。したがって、展示されている文化財は、ここでは町の中にある見てほしいもの、知ってほしいものということになるので、神社、お寺、石仏、城跡、古い民家、古道、現代ではダムや発電所ということになります。訪れる人はガイドブックやマップを手に個人で、グループでそれぞれの目的と計画で歩いて見て、楽し

く学んでいただけます。

城山地区にはたくさん見所があります。博物館には特別展があるように、城山エコミュージアムでは、いくつかのモデルコースをつくり、一日を楽しく歩いて学ぶ催しを行っています。運営は「城山エコミュージアムを育てる会」の会員が行い、現地での説明も会員が行い、地域の文化財に興味をもっていただけるようにしています。会員も地域に知的関心をもって集った者たちで、参加者共々生涯学習の場と機会を共有して楽しんでいきます。



平成22年10月に開催されたエコミュージアムツアーでは普門寺を訪れた

私が病気に???

竹村 房代 (相模原)

平凡に、つつがなく毎日を送っている生活の中で、私が病になるとは思いもありませんでした。ある日突然に「脳梗塞」で右半身不随となり、不自由な生活、暮らしとなってしま

いました。以来五年と四ヶ月、リハビリを重ねて、やっと杖をつけて歩けるようになりました。右手も動かせるようになり、習字も復活、老人で身障者ですからおまけだと思いましたが、去年の夏ようやく八段となり、今は九段を目指して頑張っています。生きる目的の一つになっています。

こんな病となり、まわりを見渡すと色々な人が目につきます。寝たきりの人、言葉を失った人、半身が動かないで車椅子の人、足が不自由でひきずっている人、勝手に手足が震えている人等、数えきれない程の症状を持った人に出会います。こんな風になっているのは、全て脳が原因だと思えます。病のサインがあったはず、その時に手当をしていたら軽くすんでいたのではないかと思うと悔しくてなりません。

サインといっても色々あるようで、手先のしびれ、文字が不揃いになったり、気持ち悪い、激しい頭痛、不安定な歩行、両手が鈍く物を落下させる、座っている時の体の傾き等々。日常と比べて「チョットヘン」と思われる時は、脳からのサインと考え、すぐに医者に行き診てもらおう事が大切です。私達は、いつ何があるか分かりません。常日頃の健康であることを過信しないのが重要だと思います。

公的年金・企業年金も〈中央ろうきん〉へ

年金(公的年金・企業年金)の受取口座を〈中央ろうきん〉にご指定の方は、おトクな定期預金「ふれ愛定期300」「ふれ愛定期」がご利用いただけます。

※自動継続(元金継続)のお取扱いができます。なお満期時点で公的年金等のご指定が無い場合には満期時点の店頭表示金利(金利上乗せなし)での自動継続(元金継続)となります。お利息の計算方法は単利となります。

	ふれ愛定期300	ふれ愛定期
対象預金	スーパー定期、スーパー定期300 (預入期間1年)	スーパー定期、スーパー定期300、大口定期預金 (預入期間1年)
預入金利	店頭表示金利 十年 0.3%	店頭表示金利 十年 0.2%
預入金額	お一人さま300万円まで	お一人さま2,000万円まで

●上記内容は2011年8月1日現在です。●上乗せ金利適用期間は2011年9月30日までの取扱いで、金利情勢により商品内容等が変更となる場合があります。●店頭表示金利および上乗せ金利は税引き前であり、お利息には20%の税金がかかります。●中途解約された場合、当金庫所定の中途解約金利が適用となります。●〈中央ろうきん〉定期預金は、預金保険制度の対象商品です。●店頭に説明書をご用意しております。●最新の店頭表示金利は、店頭または当金庫ホームページでご確認ください。

もっとサポート
ずっとサポート

中央ろうきん

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨に、店舗を展開しています。

お問い合わせは 相模原支店 TEL 042(772)0451 FAX 042(770)7282

理想の石を求めて

日暮 功 (相模原)

「石?」「石をどうするの?」等と、色々いわれながら始めた「水石」の趣味も六年目を迎えた。「水石」は、趣味としては、一般的に馴染みが薄く、どんなことをやるのかも余り知られていない。

簡単にいえば、河原に行って、自然の風景(山・溪流・島・滝等)を表す石を拾ってきて、汚れを落としたり、油を塗ったりして、手入れをし、水盤や台に飾り、「風流なり風流なり」と、鑑賞をする趣味である。

また、形が、家・船・動物等に見える形象石や石面に、動物・文字等の紋様を天然に表す石も「水石」として鑑賞の対象とされている。たかが石と思われがちであるが、「水石」の歴史は古く、後醍醐天皇、小堀遠州他歴史上の人物の愛した石、徳川家、伊達家、上杉家等大名家に縁のある石も伝承石として残されている。されど石なのである。



山の滝に見えますか?

それ故、華道や茶道と同じように石道という奥深いものもあり、それを究めるのは大変難しい。

この歳になって、石の道を究めるつもりはないが、せめて、少しでも石道の理想に近い石を手に入れたいと思うのが人情である。

近くは、相模川、多摩川、酒匂川、一寸遠出で釜無川、天竜川、利根川、遠くは、只見川、魚野川等々銘石が出るといわれる川へ探石(石を探しに行くこと)に頻繁に出かける。

いずれの河原にも自然がいっぱい、景色も素晴らしい。石友と共に、理想の石を探し求めて河原を何時間も歩く。健康のためにも、日頃のストレス発散のためにも、おまけに銘石が手に入るかもしれないという夢の実現に、最高の趣味かと思っ

ている。

広い河原で良い石を見つけるのはまさに出会い、これからも、理想の石との出会いを求め、河原を歩き続ける予定である。もしよろしければ、お仲間にかがですか。

短歌

相模野

西田 幸子 (相模原)

「林間」とふ町の名よけれ相模野に
雑木林が明るく展ひらく

新設校十数人にて手植えせし

桜の若木いかになりけむ

グラウンドの広きを部活の生徒らは

走りゐるべし大野北中

俳句

足袋

石塚モト子 (相模原)

露天風呂呂豊作の柿目の端に

蓑虫の去年の住み家と同じとこ

親指あかぎれや靴あかぎれの母そばにゐて

足袋はいて果報の足と言われけり

通る度服にすりよるいのこづち

おかげさまで今年で 26周年!

湘北教職員生命共済

湘北教職員組合
事務取扱 (財)相模原教育会館

引受会社: 明治安田生命保険相互会社
引受損害保険会社: 明治安田損害保険株式会社



※詳細はパンフレットをご覧ください。

MY-A-11-LF-004981 MYG-A-11-LF-409



森林インストラクター等

として

高崎 好計 (厚木)

「いらっしゃい」「よろしく」
すみきった空気、清らかなせせらぎ、
爽やかなそよ風に迎えられ、今日も
充実した一日がすぐせそである。
ここは、県のやどりき水源林。A企
業の森林再生活動のお手伝いの日で
ある。百人近くの参加者と共に、午

前は間伐・林内整備、午後は森林癒
し体験を、お手伝いする。

定年退職後、二年間の再任用勤務

を終え、二年目になるが、かながわ

森林インストラクター・かながわフィ

ルドスタッフ等々として、ボランティア

活動・地域活動に関わっている。

現職時に比べ、勝るとも劣らない

多忙で充実した日々をおくっている。

そのわりには、ストレスが低下し、

健康な毎日がおくれているのは、す

ばらしい自然・人とのふれあいのお

かげだろうか。

ちなみに、七月の関連活動を多少

ピックアップしてみよう。1日B小

学校バードウォッチング・5日会事

務所当番・7日理事会・10日C青

少年団体イベント下見・16日D小学

校炭焼き等・21日県新採用教員研修

下見・22日E八幡宮イベント打ち合

わせ・24日C青少年団体水生生物観

察等・27日県新採用教員研修・28日

県幼稚園新採用教員研修・29日県企

業庁自然観察等：

以上のように、多様な活動のお手

伝い・指導に関わっているが、最近

は、どちらかというと、森林癒し・

森林セラピーを中心に活動するよう

にしている。理論的研究もすすみ、

何より、体験的に効果を実感してい

るからである。興味のある方は、連

絡いただきたい。企画からイベント

まで、万能な限り、お手伝いしたい。

囲碁・将棋大会で活躍

二〇一〇年十一月二十二日、神退
教囲碁・将棋大会が、一〇四名参加
のもと、県教育会館で行なわれ、湘
北退教が次のように大活躍しました。

〈囲碁の部〉

。団体戦 (八チーム)

。準優勝 湘北退教

。個人戦 (十六名参加)

。準優勝 森 貞夫

(和・南林間中)

文集「遊心」から

神退教文集第十八号「遊心」が、
二〇一一年六月に発行されました。
五つの構成に編集され、充実した内
容になっています。湘北退教の会員
からも執筆・投稿されていますので
紹介します。(頒価一、〇〇〇円)

〈将棋の部〉

。個人戦 (十四名参加)

。優勝 河本 一男

(和・渋谷中)

。私の学校だより 回顧 〓

(執筆 志村 光久)

。親鸞随想

—「語録」から学ぶ親鸞思想

改邪抄、口伝抄、執事抄より

(執筆 田中 勝治)

。伊能忠敬の歩みを追って

—歴史散歩の楽しみ

(執筆 金子 和蔵)

。表紙・写真

—南アルプス宝剣岳

(撮影 鈴木 勝)

ご冥福を お祈りいたします

- | | |
|---------|---------|
| 牛尾 充雄 | 井上 則之 |
| 佃 虎次郎 | 渋谷百合子 |
| 小野 沢 敏之 | 尾登 泰夫 |
| 串田 敏之 | 酒川 保 |
| 加藤 貞治 | 天野 英次 |
| 松野 澄夫 | 波多野 良子 |
| 森田 幸崇 | 金井 日出男 |
| 山崎 勝 | 小俣 慎之介 |
| 加賀田 光雄 | 長谷川 みち子 |
| 相場 佳子 | 榎本 義孝 |
| 永田 宏 | 原 善四郎 |
- (二〇一〇年九月以降)

編集後記

十九号刊行にあたり、編集委員一
同「設立二十周年」の重みをかみし
めながら編集にあたりました。
今回は、短期間での編集準備のた
め原稿依頼等大変でしたが、皆さま
に支えられて「悠悠」十九号を刊行
することができました。執筆者のご
協力に深く感謝申し上げます。
自薦・他薦、特に俳句・短歌・ひ
ろばの作品の投稿をお待ちしてい
ます。

※広報部員

- | | |
|-------|-------|
| 長田加代子 | 高橋 正和 |
| 鈴木 勝 | 林 裕行 |
| 嶋田マサ子 | 佐野 葉子 |
| 長谷川 兌 | |